

「何が問題なのかを知る」ための近道ソリューション“見える化”。基礎から学ぼう



エネルギー管理の基礎と「見える化」

講座のねらい

ダイエットに体重計が必要なように、省エネ推進にも計測が必要です。

加えてその効果を把握するために記録が不可欠であり、それらを継続監視し、傾向を見ながら問題点を把握していくことがエネルギー管理の基本といえます。その問題点の把握をより分かりやすくすることが“見える化”です。

本講座では“省エネに繋がる見える化”を講座の中心軸に据えて、計測方法やデータの集め方など、技術面や法制度面など様々な角度から、そのあり方を初歩から分かりやすく考察します。新たに「特定事業者」となった会社様、これから省エネ・CO₂削減そして省コストに取り組みたいとお考えの皆様(中小規模事業者)に、受講を強くお奨めいたします。

カリキュラム

1. 省エネ対策「見える化」の必要性
～QC7つ道具と「見える化」～
2. エネルギー使用量の「把握」と計測
～数値化して管理する～
3. 計測機器と検針票の読み方
～計測は管理のはじまり～
4. 状況の「把握」(エネルギー量以外のすべて)
5. 使用状況の「改善」 ～2つの改善手法～
6. 工場の判断基準(告示)～記載事項～

(質疑応答→終了)